

与良川通信

～ 第26号～

令和4年4月20日発行



コウノトリ3年連続でヒナ誕生

工事名：栃木南部農業水利事業
与良川統合排水機場建設工事

発注者：農林水産省 関東農政局

受注者：前田建設工業株式会社

「安全」「環境」「品質」を最優先して作業を行ってまいります。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、何卒宜しくお願いします。
ご意見、ご感想がありましたら、お気軽にお声掛けください。

令和4年3月末現在
工事進捗率：75.2%

【文責】
小林 春陽



はじめに



4月は河川内工事の最終段階である東部自然排水樋門と
本体部周辺の擁壁および護岸を施工しています。

与良川統合排水機場とは？

梅雨時から台風シーズンにかけて大雨が降り、遊水地の水位が上がると与良川の水を自然流下できなくなり、
周辺の農地や住宅地に湛水被害が生じます。この排水機場は、その大雨で増水した与良川の水を、ポンプの
力で強制的に遊水地に排水し地域を守る重要な役割を担っています。

通常時



出典：国土交通省関東地方整備局



増水時の様子(与良川側)

増水時



出典：国土交通省関東地方整備局

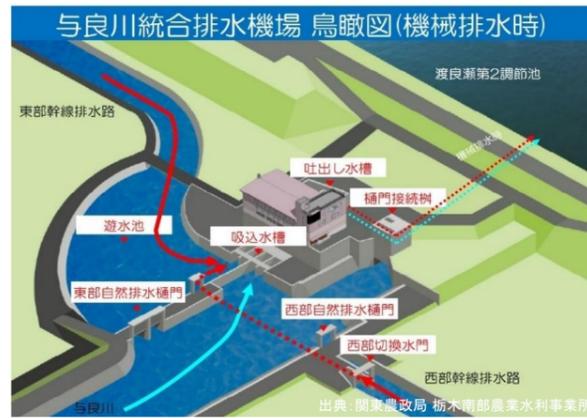


増水時の様子(遊水地側)

<令和元年10月撮影>

排水機場のしくみ

下図左のとおり川の水は、通常時はゲートを開けた状態で3系統の水が合流し遊水地へ流れていきます。
下図右のとおり、大雨が降り水かさが増すと“樋門”を締めて排水機場の巨大なポンプで毎秒26トンの水を
遊水地へ吐き出します。



国営栃木南部地区土地改良事業とは？

国営栃木南部地区は巴波川と思川に挟まれた平らな水田地帯で、その下流側には渡良瀬川が流れており、
水が非常に起こりやすくなっています。近年、頻りに降る大雨を考えると、完成してから30～50年も経った現在
の施設では排水が間に合わず水没してしまいます。そのため水路の改修や排水機場を新しく作り直すことで約
36km²もの地域の農地と住宅地、そして環境を守り、より生活を豊かにすることができます。



令和元年10月の台風による増水



ご挨拶



4月より着任した事務担当の田野伸午と申します。
出身は石川県、高崎経済大学卒の31歳です。
2013年に入社以来、宮城、福島沿岸の震災復興工事を中心に、
東北、関東各地の現場に携わってきました。大学卒業以来いつか
北関東で仕事ができればと思っていたので、今回とても良い機会
をいただきました。今後お見掛けすることがありましたら、ぜひお
声掛けください！